

特 集

若手職人 × 市議会

今回は、市内でものづくりに取り組む若手職人の皆さんにお話を伺いました。仕事や地域活動、地元に対する熱い思いを語っていただきました。



仕事はもちろん、地域の文化や歴史も後世に伝えていきたいですね。

〈どんな仕事をしていますか？〉

ガラスやアルミサッシを扱っていますが、それ以外の仕事もできる範囲でやっています。五日市で3代建築塗装をやっています。水道設備業をやっています。大工で、日本建築や在来工法をメインでやっています。半導体や液晶装置の部品、金具などを加工しています。椅子やテーブルといった無垢の木の家具を作っています。

〈仕事以外に地域活動は行っていますか？〉

地域の消防団やお祭りの会、ソフトボールなどいろいろやっています。地元神社の繁栄が一番地域の活性化につながると思います。歴史などを学び、五日市の文化を後世に伝えていく活動をしています。地元に貢献するため、商工会や青年会議所に入り活動しています。五日市七福神を作って7、8年になりますが、実行委員としてお正月に人を呼べるようなイベントを企画しています。

〈後継者になろうとしたきっかけは？〉

子どもの頃から、仕事をしている父親の姿に憧れがあり、継ぐことにしました。小さい頃親にくっついて仕事を手伝っていたとき、地域のお客さんに良くしてもらったので、皆さんに恩返ししたいという気持ちがありました。子どもの頃、親に「継ぐんだ」というと喜んでくれた思い出があり、「商売をたたく」と聞いたときに、「俺がやるからがんばれよ」と腹を決めました。親が倒れたときに継がなきゃ



いけないかなと思いました。他の仕事をしていましたが、あるとき会社の決算書を見て、このままでは5年後、10年後が大変だと心配になり、継ぐことにしました。

〈仕事に悩みはありますか？〉

従業員の平均年齢も上がっているんで若返りを図りたいのですが、若い人は集まらないし、また育てるのも大変です。工場が住宅街に囲まれているので、どうしても作業音が出してしまうため、遅くまで仕事ができないことです。最近はお客さんがインターネットで情報収集するので、いろいろな知識を知っておかないと対応できないところです。

〈市や議会に望むことは？〉

戸倉あたりの秋川渓谷を遊ぶ場所として整備し、大勢の人が来れば良いと思います。税金などをインターネット上で払えるペイジーという制度を導入してもらいたいと思います。せっかくある草花公園の遊歩道をきれいに管理してもらいたいです。働く人が仕事帰りに立ち寄れるよう、図書館の開館時間をもっと少し長くしてもらいたいです。地元の業者を使うと補助金ももらえたり、減税になったりする制度をさらに充実して欲しいです。

※ペイジー (PAY - EASY)
インターネットバンキングや現金自動預け払い機 (ATM) などの手段を用いて電子的に支払いを行うしくみ。

● 9月定例会 議案審議 ●

あきる野市の

こんなことが決まりました。

9月定例会 会期18日間 9月1日～9月18日

今回の議案は

市長提出議案…20件

議員提出議案…1件

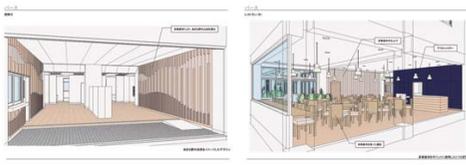
計21件

今号ではこの中から3つを Pick up

全ての議案名と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。議案事務局へお問い合わせください。

Pick up 1 「戸倉体験研修センター」を管理運営する民間業者を決定しました。

体験型の観光施設を地域住民と進めることが十分期待できるため、これまで「瀬音の湯」で培ったノウハウや、地域との密接な連携を図ってきた実績のある、新四季創造株式会社「戸倉体験研修センター」の指定管理者に決まりました。



イメージ図

こんな意見が出ました。

- 利益追求型よりはむしろサービス中心になると思うが、それなりの利益を得ていかなければいけない。
- ぜひ民間的な経営の発想を持って取り組んでいただきたい。
- 子どもから大人まで誰もが快適に利用できるよう、きめ細やかな配慮を十分していただきたい。

〈議案第53号〉 あきる野市手数料条例の一部を改正する条例

Pick up 2

通知カード、個人番号カードの再交付には、手数料がかかります。

マイナンバー制度開始により通知カード及び個人番号カードが新たに交付されることに伴い、規定を整備しました。通知カードの再交付には500円、個人番号カードの再交付には800円の手数料がかかります。

こんな質問が出ました。

Q 通知カードについて、高齢者など保管ができない方が、カードを失くしてしまった場合の再交付も費用がかかりますか？

A 様々な事情があるかと思いますが、再交付について、市や発行機関で破損した場合や国外に転出してしまったなどの理由以外は、有料となり手数料がかかります。



〈議案第56号〉 あきる野市戸倉体験研修センターに係る指定管理者の指定について

〈議案第27-4号〉 安全保障関連法案の廃案を求める意見書

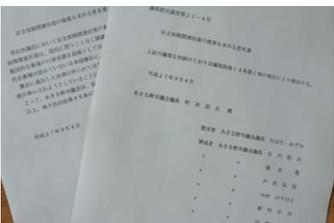
Pick up 3

安全保障関連法案の廃案を求める意見書は提出しません。

安全保障関連法案は、集団的自衛権の行使容認を前提としており、個別的自衛権は認めているが集団的自衛権を認めていない日本国憲法に違反しているため、廃案にすることを国へ要望するものです。反対議員が多かったため、この議案は否決となりました。

こんな意見が出ました。

- 切れ目のない平和安全体制を整えることにより、「わが国の平和と安全」及び「国際社会の平和と安全」をより一層確保できるように考えるので、意見書の提出に反対します。
- 先人の尊い命を犠牲にした反省から戦後70年、国民全員で守ってきた平和が脅かされるリスクが高まる懸念が拭えない。憲法の平和主義を守る立場から意見書の提出に賛成します。



*千円以下切り捨て

総務費
27億2554万円

鳥居場会館改修工事 5394万円
玉見会館改修工事 5375万円



民生費
123億2644万円

臨時福祉給付金 1億3235万円
児童手当 13億6734万円



衛生費
29億3725万円

阿伎留病院企業団負担金 7億1320万円
生物多様性地域戦略策定委託料 302万円



農林水産費
5億8621万円

新規就農者提案型補助金 124万円
花粉対策枝打ち作業委託料 9014万円



商工費
3億4284万円

フィルムコミッション事業経費 映像製作委託料 346万円
旧戸倉小学校観光施設整備事業 1544万円



土木費
39億4677万円

LED街路灯借上料 3399万円
市営住宅建設工事 14億4668万円



消防費
11億589万円

東京消防庁事務委託金 8億9003万円
地震・台風等災害対策経費食糧費 755万円



教育費
31億747万円

小中学校トイレ洋式化工事等 6325万円
旧市倉家住宅屋根改修工事 1879万円



教育費

キラホール空調設備改修工事等 1億9196万円
学校給食材料費(秋川、五日市) 3億4391万円



平成26年度決算をチェック

税金の使い道を確認しました。

一般会計歳出額 (使ったお金)

301億7508万5387円

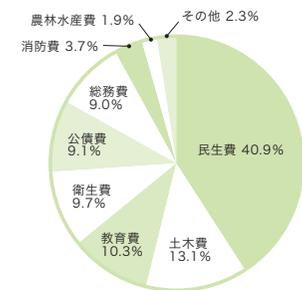
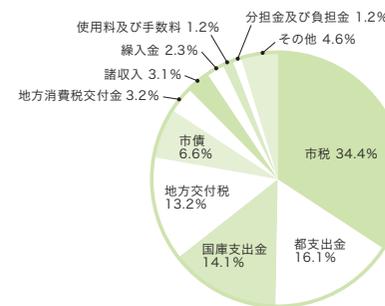
総歳出額 (使ったお金)

496億4943万182円

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査・確認を受けなければなりません。そのため、9月14日・15日の2日間、皆さんが納めた税金がどのように使われたか、決算特別委員会を開催し確認しました。そして全ての決算が認定されました。使い道について一部を左ページで紹介します。

平成26年度各会計決算状況

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	309億3315万9203円	301億7508万5387円
特別会計		
国民健康保険	98億6819万8687円	93億8334万1625円
後期高齢者医療	16億6044万3162円	16億3959万1583円
介護保険	52億6334万5021円	51億5449万2388円
戸倉財産区	823万2834円	404万5375円
下水道事業	32億7758万4264円	32億6761万7362円
テレビ共同受信事業	2525万6462円	2525万6462円



一般会計歳入

一般会計歳出

あきる野市議会 自民党

賛成

平成26年度のあきる野市については、法人市民税の増加など、景気回復の兆候はみられたものの多くの市民が景気回復を実感できるまでに至っていないのが実態である。歳入総額は約3億円の減少で将来負担率は



奥秋議員

66.3%で3.4ポイントの増と悪化しているが、決算の内容を見ると、概ね事業も順調に進んでいるものと受け止める。あきる野市が誕生して20年、懸案の土地開発公社が第3セクター等改革推進債を活用することで解散の運びとなり、一つの区切りをつけることとなった。日井市長のご功勞に対し、心より感謝申し上げます。今後は土地区画整理事業のあり方も十分に検討され、堅実な行財政運営を進めることをお願いし、賛成討論とする。

公明党

賛成

財政指標の経常収支比率は96.0%で前年度比1.9ポイントの増となり、財政の硬直化が心配されるが、第2次行政改革推進プラン（改訂版）に基づき限られた財源の中で、重点的かつ効果的に施策展開が図られている。



田中議員

歳入では、コンビニ収納の増加等、市税徴収率は現年度分で99.2%と高く、徴収努力を評価する。主な事業では放課後児童の待機児童対策、東京一の健康寿命の維持、がん検診受診率向上等、成果が表れており評価する。今後も、厳しい財政状況の中、行政改革に取り組んでいただくとともに、学校の非構造部材耐震化の推進を始め、市民福祉の向上に努められるようお願いし、賛成討論とする。

民主党

賛成

若干の改善はみられたが、各事業の評価や意見が記載された事務報告書を本年も求める。経常収支比率96%、26市平均90.7%と比べ5.3ポイント高。実質公債費比率も7%と同平均1.6%より5.4ポイント高。本市



中村議員

1人当たりの基準財政需要額14万9260円、26市平均より約1万2千円高く、逆に基準財政収入額10万6358円と同平均より約2万8千円低い。財政力指数も0.710、26市平均0.938と比べかなり低い。増大する需要を満たすだけの財源が乏しいことを証明。市税徴収率97.8%の前年度比0.8%増加。不用額約12億8229万円、前年度比約4億5千万円増加。こうした理由が市民にもわかる事務報告書を作るべき。適切な執行を求めるが、職員の努力に敬意を表し賛成。

政和会

賛成

歳入決算総額で前年度比1.0%減の309億3315万9千円となっている。地方債、いわゆる借金も前年比20.1%の減で20億3690万7千円となり、我が会派が主張する自主財源確保は喫緊の課題である。その比率は43%で、毎年のやり繰りで網渡り的な財政運営の努力に敬意を表す。平成27年度では土地開発公社の解散に向けて、新たな借金が予想される。



合川議員

将来にわたり公共施設の維持管理も避けて通れない課題である。新たな借金が生まれ、将来の人口減少が予想される状況の中での財政健全化は、行政側だけでなく議会も一丸となって取り組む必要が迫られていることを述べて賛成の討論とする。

平成26年度決算をチェック



このような理由で一般会計決算の 認定に賛成・反対しました。



子籠委員長

定例会最終日に、決算特別委員会で審査した結果を子籠委員長が報告し、全会派が平成26年度一般会計決算の内容について賛成・反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

自由民主党 志清会

賛成

新増築家屋の増加による固定資産税の増加や、景気回復の影響による法人市民税の増加などにより、市税全体では前年度比0.5%増収となった。その一方、財政指標については、高齢化の進展に伴う医療費の増大など社会保障関係費の伸びにより悪化している部分はあるが、これまでの行政改革の断行による、職員数の削減や土地開発公社の解散に向けた取り組み、また、税の徴収率については97.8%と極めて高く自主財源の確保に大きく貢献しており、着実に成果を上げている努力を評価し平成26年度決算に賛成する。



中嶋議員

日本共産党 あきる野市議会

反対

個人市民税が減収、市民の暮らしは大変。乳・子宮がん検診の受診率向上は評価する。いきいきセンタープールの通年営業をすべき。「るのバス」の早期改善を求める。子育てクーポン券の発行など若者が住みやすいまちづくりを。保育園・学童クラブ・病児保育の拡充を。恵みの森事業は、土地開発公社の売れ残った山林を31億円借金して買い取ったもので、借金の返済額は毎年約1億4千万円。77億円かけようとしている引田駅区画整理は凍結・縮小など見直しをすべき。35人以下学級を全学年に。9800万円の観光費は対費用効果を検証すべき。マイナンバー制度は中止を。開発優先の市政運営を改め、住民の暮らし福祉・教育最優先に税金を使うべきだった。



山根議員

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 15名 質問 32項目

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から「本会議録画中継」を検索してご覧ください。公開は次の12月議会までです。

福祉

老人福祉について



川口 哲夫議員

全国各地で猛暑が続き、独居老人が熱中症で誰にも看取られず亡くなる悲しい出来事が起きている。

め、地域包括支援センターを中心に介護支援専門員により適切なサービスを提供している。

Q 市内の独居老人世帯はどのくらいあるのか。
A 平成22年の国勢調査時点で、2116世帯である。

Q 地域の見守り実績が平成25年度196世帯あった。どのような事例があったか。
A 見守り訪問時に利用者が不在である通報が3件あったが、後日確認の結果、問題のないケースであった。利用者からは、見守り訪問時の会話を楽しみにしているとの声が寄せられている。

Q 在宅介護支援センターの相談対応件数は、平成24年度1760件、25年度1416件の実績である。26年度は見込みで200件、以後全ての年度で200件の計画になっているが、どのようなことなのか。
A 平成24年度までは3か所で行っていたが、25年度は2か所、26年度以降は1か所となっているため、減少した。



政策

空き家対策について



松原 敏雄議員

総務省の調査では、全国の空き家は毎年増え続け、今後も拡大が予想されている。国では5月26日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行され、自治体の空き家対策の取り組みが強化された。

Q 市内の空き家の現状は。
A 4月末現在、件数4922件、市内平均空き家率約2.6%、管理不足による個別指導等に取り組んでいる件数17件となっている。

Q 「特措法」第2条の特定空家等の認定手続きは。
A 手続きは市で行うが、国のガイドラインで、認定にあたっては学識経験者等の意見も十分聞いて認定の手続きを進めるよう示されており、慎重に実施したい。

Q 「空家等対策計画」策定の考えは。
A 所有者、管理者に対する意向調査の結果を踏まえたつつの計画策定になり、必要と判断した場合は来年度計画策定に移っていききたい。



観光

江戸前アユについて



中嶋 博幸議員

Q 水質向上、河口堰の開門、魚道整備など様々な環境改善努力の結果、江戸前アユの遡上数が増加している。しかし、魚道の機能性にも課題があり、これらを改善すると更に多くの遡上が可能となる。世界を代表する大都市東京で、国際空港化も進む羽田へと注ぐ川に天然アユが遡上し、釣って食せるとなれば、遊漁収入の増加、観光客の増加だけでなく、世界に誇れる秋川渓谷となる。本市こそが取り組む姿勢を見せ、特に秋川に影響のある昭和用水堰(拜島堰)等の魚道課題の研究と提言を近隣行政、関連団体と連携し、都や国に改善要望していくことが重要と考えるが、市の見解は。

A 多くの若アユが秋川を目指して多摩川を遡上してくるということは、環境的にも大変喜ばしく、本市が掲げる生物多様性あきる野戦略の目標の一つでもある。また、天然アユが遡上することで放流アユの購入費の削減や、多くの釣り人が訪れるなど効果は大きいものと考えている。東京のふるさとあきる野の実現に向けた観光施策に江戸前アユの活用を図り、東京都をはじめ関係団体、流域自治体とも連携しつつ、国や東京都など、関係部局に働きかけを行っていきたくと考えている。



財政

土地開発公社について



野村 正次議員

東京都26市の財政状況総合評価が最下位である。20年前に比べ市税収入が約5億円も減り、自分で稼ぐ自主財源比率も6対4だったのが、今は逆転して自主財源は四割になってしまい、借金も市民一人当たり約82万円、26市の中でトップになっている。言い換えれば26市で一番貧乏な市になってしまった主な原因に土地開発公社の塩漬け土地問題があると思う。

Q 合併後、土地開発公社保有地を市が買い取りに要した借金の総額はいくらか。そのうち利息はいくらか。

A 平成26年度末までの土地開発公社保有地の買い戻しに係る起債の総額は89億4040万円で、起債額に対する利子は12億6106万2千円となっている。

Q 市が買い取った以外に他に売却した土地はあるのか。公共事業の代替地などとして、公社保有地を売却している。合併後の売却件数は63件で、面積は11万3565・59平方メートル、売却金額は153億5223万954円となっている。

A 市が買い取った以外に他に売却した土地はあるのか。公共事業の代替地などとして、公社保有地を売却している。合併後の売却件数は63件で、面積は11万3565・59平方メートル、売却金額は153億5223万954円となっている。

健康

受動喫煙について



中村 のりひと議員

習慣を把握し、必要に応じて助言や相談を行っている。

Q 庁舎内喫煙のメリット・デメリットは。

A メリットは利用者の喫煙場所への移動の利便性。デメリットは喫煙所のドアの開閉によるたばこの煙の流出。

他に人口動態を踏まえたまちづくり、秋川高校跡地について質問した。



交通

自転車マナーの向上について



田中 千代子議員

自転車危険運転者への安全講習の義務化などが盛り込まれた、「改正道路交通法」が本年6月に施行された。これを機に、自転車マナーの周知を図ることが必要と考える。

Q 小学校単位で安全教室を実施する際、地域住民の参観もできれば、地域ぐるみの理解が進むと考えるが、市の見解は。

A 小学校3年生を中心に開催している自転車安全教室は、学校の授業として自転車の正しい乗り方について指導している。現在、学校便りで開催日等についてお知らせしているが、今後、保護者や地域住民に参観を呼びかけるなど、取り組んでいきたい。

Q 自転車を利用する機会の多い中学生を対象に、中学校単位でスタントマンによる交通安全教室を開催し地域住民の参観も呼びかけることによって、自転車マナーの周知及び、向上が図れるのではないかと。

A スタントマンを通して、交通事故の怖さを勉強する機会は、子どもたちにとって非常に有益だと思っており、そういう機会が提供されれば、子どもたちの交通安全意識は高まると考える。

他に観光振興について質問した。

政策

地方創生戦略について



清水 晃議員

Q 本市のこれまでの取り組みは。

A プレミアム商品券、企業誘致を推進するための基礎調査、**、環境の整備、地域子ども育成リーダーの養成、市役所庁舎内の授乳室の整備、保育園等の木製玩具の配備などに取り組んだ。

Q 向こう5年間の取り組み戦略と方向性は。

A 人口減少や雇用・所得の改善など国が示す現状認識を踏まえつつ、あきる野市の地域特性を最大限に生かした戦略策定に向け、検討を進めている。

Q 国道411号道筋市町村間連携による総合戦略の共同作成について、例として広域観光、都市農村交流などが挙げられるが、どう考えるか。

A 地方創生のため、複数市町村間の連携も期待されている。国道411号線道筋では八王子市と青梅市との連携となる。具体的な連携の可能性と重要業績評価指標の設定を探る必要がある。

他に介護施策の充実、子ども子育て支援新制度、電気柵について質問した。



※Wi-Fi
無線でネットワークに接続する技術

都市部

ミニキ組跡地 住宅開発について



山根 トミ江議員

Q 具体的な計画ほどの程度進んでいるのか。

A 住宅開発事業者から住宅用地としての相談を受けているが、正式な協議書類は届いておらず、あくまでも相談レベルの状態である。

Q 仮に開発が進められる場合、道路の拡幅や下水道設置など、どこの責任で進めていくのか。

A 事業者の負担となると思われる。市は接続する道路等の管理者として、必要に応じて関与することがある。

Q 道路整備について、西側方面へ向かう道路と、北側方面へ向かう道路があるが、具体的にはどこまで事業者が行うと考えているか。



A 河川沿いを西へ向かうルートは、設計費や築造費を含めて事業者負担で整備すると聞いている。

Q 北側に向かう道路は、学童の通学路や新住宅の住民など交通量の問題を考えると、道路の拡幅などの整備が必要になると思うがどうか。

A 事業者との話の中で一定の考え方は示されている。改善要請とはなかなか言いにくい、相談していきたい。

Q 水害など防災上の安全対策は。

A 都市計画法第33条に基づき、事業者が東京都と十分協議した上で、排水施設の整備を行うこととなる。

政策

地方創生について



増崎 俊宏議員

6月30日「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」が閣議決定された。そこで以下について伺う。

Q 自治体や観光業者など官民協働型で組織し、観光・ブランド戦略の司令塔となる「日本版DMO」の設置を検討してはどうか。

A 日本で、先進的な取り組みをしているところを十分研究しながら、今後の観光まちづくりのあり方、観光まちづくりにおけるDMOのあり方を探っていきたい。

Q 若者の夢へのチャレンジを応援することにも取り組むべきと思う。起業・創業支援や中小企業支援について本市の考えは。

A 地元の信用金庫と共催で、起業希望者を対象にした講演会等も開催している。今後、起業・創業支援などの

支援体制の構築や、補助制度などに地方創生交付金を活用して戦略に盛り込んでいくことは可能と考える。

Q 妊娠から子育てまで切れ目なく相談支援を行う日本版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の設置を強く求めるが、本市の考えは。

A 新規の箱物建設は難しいことから、既存の施設における用途の転換等を考えつつ、子育て世代の支援や子ども居場所づくりに対応していきたい。



※DMO
(Destination Marketing / Management Organization)
地域の観光マーケティングやマネジメントを担う観光の司令塔のような役割を果たす機関。

※ネウボラ
フィンランド語で「アドバイスの場」という意味。

生涯学習

キララホール トイレ洋式化について



戸沢 弘征議員

Q 秋川キララホールは、一般社団法人日本建築業連合会建設業協会賞を受賞した構造物で、音楽ホールとして残音の高い立派なホールである。利用された市民から「女子トイレの洋式化」の声があがっている。現在、洋式トイレが8つ、和式トイレが8つあり、休憩になるとどごとと混雑する。女子トイレの全てを洋式化するよう強く求め、質問する。

A 市では施設の改修や修繕に合わせてトイレの洋式化を進めている。秋川キララホール内のトイレについては、ライフスタイルの変化などに伴い、利用者から洋式化を望む意見も寄せられているが、一方で衛生面等の理由で和式も残して欲しいという意見もある。秋川キララホール内の女子トイレの増設は、構造上困難だが、施設の老朽化に伴い、必要性の高いものから修繕を行っているので、他の公共施設の修繕計画などとの関係を見ながら進めていく。

他に平和事業について質問した。

環境

環境を守る取り組みについて



たばた あずみ議員

Q 市内の希少な植物の保護はどのように行っているか。

A 希少種の調査をし、実態を把握した上で、できれば地域の自治体・町内会などの協力を得て保全したい。

Q 限られた食草が必要な蝶などの昆虫の調査、保護の取り組みは。

A 専門性を有するため、進んでいるとは言えない。実態把握の後、食草を植える取り組みなどを検討したい。

Q 環境省がミシシッピアカミミガメの輸入禁止、駆除などの方針を出した。周辺自治体と協力し、放流の防止、捕獲・駆除の取り組みをすべきでは。

A 秋川に多くはないが生息している。神社や寺の池については、飼育可否が不明。東京都の取り組みを見つつ、

近隣自治体とも連携が取れるよう、対策の拡大・強化を検討したい。

Q ヤギによる除草を導入し、話題づくりや地域の活性化に役立てる事例が増えている。市民の力を借りるなどして導入できないか。

A 実施場所、飼育管理体制等において、実施は難しいが、市民や企業がやりたいという場合は適切に対応する。他に誰もがいきいき暮らせるまちづくり、いじめについて質問した。



※ミシシッピアカミミガメ
日本ではミドリガメとして知られ、主にペットとして流通。しかし途中で飼育を放棄し、野外へ放してしまう飼い主などが増え、問題となっている。

市のQ&A

政策

子どもが主役のまちづくりについて



天野 正昭議員

市長は本年度の施政方針において新たな政策である「子どもが主役のまちづくり」を掲げた。この政策は、今後あきる野市が進むべき大きな方向性の一つであると考える。

Q 市長は今回の定例市議会を最後に退任されるが、本政策を計画的に推進するため、市長の考えを改めて伺う。各種イベントにおいて、子どもを主役に位置づけ、子どもたちがのびのびと育つよう、活躍の場、飛躍の場をつくり、あきる野の未来を担う子どもを育てていくまちづくりを進め、地域の

絆を深めながら、郷土愛を持った心豊かなあきる野っ子を育てていきたい。

Q これから実施する施策に子どもが主役のまちづくりは具体的にどのように反映されているか。

A 子ども家庭部では、地域子ども育成リーダーや、子どもの危機管理に取り組んでいるほか、子どもの体験の場であるイベント等の実施、そして子育てひろばの設置などの事業を進める中で、子どもが主役のまちづくりの推進を図っている。

他に鳥獣被害について質問した。



教育

教育振興事業補助金について



堀江 武史議員

Q この事業は、教育効果の向上を図るとともに、保護者の負担の軽減に資するため、本市立学校が行う知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で情操豊かな児童・生徒の育成を目指す教育振興事業に要する経費を補助するものであると考える。「子どもが主役のあきる野市」としての現状の対応は。

A あきる野市立学校児童・生徒教育振興事業補助金で実施している。第1に児童を対象に地域教育、地域人材の活用、第2に修学旅行、児童生徒に補助金を出している。第3に生徒が対象のスキー教室、参加者には補助金を出している。第4に特別支援学級宿泊訓練に対する補助、第5に中学校合同バンド活動、これには楽譜の購入、楽器修理、衣装の購入などに利用されている。他に大会参加の必要経費などにも充て、できるだけ保護者の負担軽減に努めている。



教育

学力向上について



村野 栄一議員

Q 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果、小学校6年生ではテレビゲームをしている時間が減り、中学校3年生では増えているようであるが、その理由やその他項目をどう考察したか。

A 中学生は、携帯電話やスマートフォンを利用する機会が増え、一方、小学生の減少理由は、家庭でテレビゲームの使用ルールが定着されてきたこと等が挙げられる。その他項目では、予習復習の割合が小中学校とも増加。復習では、東京都の割合を若干上回っている。

Q 小学生の学力、中学生の学力を東京都と比較したときの違いを踏まえ、27年度新たに取り組んでいることは。

A 東京都教育委員会の指定を受け、算数・数学の授業をはじめ、朝学習や放課後の補習や夏季休業中の補習に外部指導員を活用し、基礎学力の定着等に取り組んでいる。

Q 小中一貫教育での9年間を活かした学力向上で出来ることは。

A 小中学校の教員は、合同の研修会等を行い、子どもたち一人ひとりの学力向上に向けて研究をし、指導力の向上を図っている。

他に職員の適材配置、地域の魅力向上について質問した。



子育て

子育て応援サイトについて



子龍 敬人議員

Q 先日、新宿区の子育て応援サイト「はっぴー子育て」について学んできました。これは妊娠前から就学前までの子育てに関する情報を集約したサイトで、イラストなども多用し、明るく親しみやすい画面となっている。本市でもこのようなサイトの展開について、研究してはどうかと考えるが、見解を伺う。

A できる限り写真やイラストなどを使い、視覚的にも分かりやすくしていくように創意工夫を図り、対応していきたい。提案された情報サイトを含め、情報の展開手法等について調べていき、市としてより良い情報提供ができるよう進めていきたい。

他に地方創生、職員採用について質問した。



No.4

新しい会派を紹介します。

明るい未来を創る会

◎合川哲夫 清水晃 中村のりひと 野村正夫

くさしぎ

◎辻 よし子

◎代表者

No.3

あきる野市議会議員補欠選挙結果
新しい議員が加わりました。



辻よし子
(くさしぎ)

昭和35年4月29日生まれ
草花3012,200
559-6941
当選回数 1回
【趣味】自然観察
【信念】小さな声に耳をすまし、大きな力にのこす。



栗原剛
(くろはらよし)

(自由民主党) 志清会
昭和45年12月17日生まれ
銀谷171
596-0917
当選回数 1回
【趣味】映画鑑賞・読書・スノーツ
【信念】事実は一つ、だが解釈は無数。

No.1

あきる野市議会基本条例報告会
「議会基本条例ってなあに？」を開催します。

あきる野市議会は、今年7月に議会基本条例を制定しました。議会基本条例ができて、議会はどのように変わっていくのでしょうか？市民の皆さんが望む議会とは？条例制定の経過などとともに、これからの議会のあり方について皆さんに報告し、意見交換を行う会を開催します。お気軽にご参加ください。

- ▼日時及び場所
11月7日(土) 午後3時～4時30分
市役所5階503会議室
11月11日(水) 午後7時～8時30分
五日市地域交流センター3階
まほろばホール
※同一の内容で2日間実施します。
- ▼申し込み方法 直接会場へお越しください。
- ▼問合せ 議会事務局

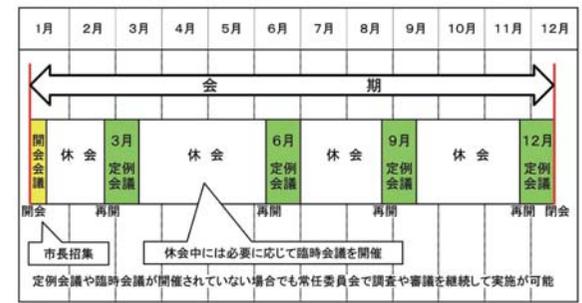


No.2

1月から「通年議会」が始まります。

あきる野市議会は、1月から1年間を会期とする「通年議会」となります。会期を通年とすることで、議長により速やかに本会議を開くことができ、災害等の突発的な事件や緊急の行政課題に対応することができ、また、常任委員会や特別委員会の活動を活発化し、より慎重な議案審査や、所管事務調査を精力的に行うことが可能になります。なお、1月4日に開会会議が開かれます。

あきる野市議会 通年議会のイメージ



あきる野市議会活動レポート

西多摩地区議長会議員研修会



10月13日に西多摩地区議長会議員研修会が瑞穂町民会館で開催され、議員が参加しました。(株) ローカルファースト研究所代表取締役関幸子氏を講師に招き、「地方再生～変革時代の議会の役割～」というテーマで講演が行われました。

常任委員会市内現地視察



環境建設委員会では、9月10日に牛沼の市道の廃止路線と牛沼初雁地区隣接の土地開発公社所有地の現地視察を行い、現在の状況を確認しました。